

総長室事業推進経費プロジェクトによる北大 教育改革に係る研究成果発表ワークショップ

○日時:平成27年5月19日(火)及び5月21日(木)13:30~15:30

○場所:高等教育推進機構S講義棟1階S5教室

○参加対象:本学教職員(事前申込は不要です。直接会場へお越しください。)

○プログラム:

13:10 開場

13:30 挨拶(新田孝彦教育改革室長(理事・副学長))

13:40 平成26年度プロジェクト研究の成果発表(下記研究成果発表一覧参照)

14:55 教育改革のために今求められるプロジェクト研究とは
(喜多村昇高等教育推進機構副機構長)

15:10 意見交換, 全体討論

15:30 閉会予定

○研究成果発表一覧:

・5月19日(火)

時間	所属・職名	発表者	研究題目
13:40~13:55	文学研究科・准教授	眞嶋 俊造	研究者の専門職倫理としての研究倫理の教育コンテンツ開発と、ICTを活用した発信型オープン教材(日本語版・英語版)作成
13:55~14:10	メディア・コミュニケーション研究院・准教授	高見 敏子	適応型の学習と試験ができるLMSの開発
14:10~14:25	メディア・コミュニケーション研究院・准教授	清水 賢一郎	「中国語Ⅱ」CALL授業におけるICTとTFを活用したアクティブラーニングの試行的導入
14:25~14:40	先端生命科学研究 院・教授	出村 誠	4学期・クォーター制による学部講義・実習プログラム開発研究(3)
14:40~14:55	高等教育推進機構・ 特任准教授	宮本 淳	「社会を生き抜く力の養成」につながるプログラムに関する研究-北海道大学におけるアクティブラーニング型授業の現状と課題についての教員アンケート

・5月21日(木)

時間	所属・職名	発表者	研究題目
13:40~13:55	脳科学研究教育センター・教授	横澤 宏一	脳機能イメージング全学教育研修プログラムの開発
13:55~14:10	工学研究院・教授	小林 幸徳	海外の交流大学との協働教育プログラムにおける授業運営の効果的な枠組み(フレーム)に関する実証研究
14:10~14:25	地球環境科学研究 院・准教授	山崎 健一	「継続的なアクティブラーニングの機会提供」による国際的な研究・技術者の育成
14:25~14:40	法学研究科・教授	会澤 恒	日本法概論に係る英語リーディングス編成法についての研究
14:40~14:55	総合化学院・教授	村越 敬	次世代e-learningに向けた化学分野オープンコース教材のコンテンツ開発

○備考:

本事業は今年度も研究プロジェクトを公募しますので、応募をお考えの方は積極的にご参加ください。

主催:北海道大学 教育改革室

企画:高等教育推進機構高等教育研修センター

問合せ:学務部学務企画課教育支援担当

内線:5567 E-mail:suishin@academic.hokudai.ac.jp